

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	ご入居者が自らの行きたい場所へ出掛けられる支援として、少人数での個別外出を実施してきたが、ADLの高い方々の入院、体力低下、退居などから個別外出の機会が減少している。	ご入居者の「楽しみ」「満足」に向けての取り組みを、屋外のみならず、屋内の行事をマンネリ化させない取り組みを行う。	1. 少人数による個別外出は、事前にニーズの把握をおこない実施する。 (1)相性や歩行レベルに合わせて2～3人の班分けを行う。 (2)あらかじめ各班には担当者を設定し、ニーズ調査や計画書の作成を行い、確実に実施する。 2. 委員会を計画的に開催し、施設行事の内容の充実に図る。 (1)見て・聞いて・感じて楽しめる工夫をする。	12ヶ月
2	38	ご入居者の重度化から食事形態でペースト・ソフト食の方が増え、「食の在り方」を見直す必要がある。	ソフト食・ペースト食の在り方を考え、満足に近づける取り組みを行う。	1. 管理者が中心となった食材委員会を実施する。 (1)現在、提供しているペースト食の見直し。 (何が欠けているのか等) (2)満足に向けての「できる工夫」を明確にする。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。